
誰かと

前田広大

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
誰かと

【Nコード】
N9791V

【作者名】
前田広大

【あらすじ】
詩。

現在の作者の状態を書きなぐったものです。

内容としては誰かと一緒にいたいとかそういう事です。

『「人に悩みを聞いてもらう」のが目的の人生相談』と似たようなものです。もう小説とは言わないと思います。

十数年間、完璧には程遠いけどそこそこ普通に生きてきた。

貧しいけど餓えるほどじゃなく、愛してくれる両親もちゃんとして、創造主って存在とその愛も信じてる。

でも足りない。幼いときからずっと満たされない部分がある。

それを満たしてくれそうな相手を想い続けたこともあった。その想いを伝えて、そしてそれは崩れ去った。

心にずっとある隙間を埋めてくれる相手がほしい。そして僕も相手の隙間を埋められるようになりたい。

疲れはててベッドに倒れ込んでいる時に思う。

誰かと抱き締め合っていたい、誰かの愛が欲しい。僕のことを愛してほしい。

きつと、寂しいんだ。

一人きりじゃあないし、親や創造主が僕のことを愛してくれるってのもわかってる。

でも…そう、ずっと一緒にいてくれる異性、僕のことを愛してくれる異性、そんな存在が必要なんだ。

僕に欠けてるものなんてたくさんある。でもその欠点は僕の特徴で、それがあっても楽しめる。

でもこの隙間だけは、埋まってくれないと満たされないんだ。何かで楽しむことはできても、夜になったら虚しくなる。

必要なんだ。誰かが。

今の僕は、特定の誰かと一緒にいたいという想いは持っていないと思う。もしかしたら気づいていないだけかもしれないけど、きつと臆病になっているんだ。何度かそんな想いを抱いて、そしてそれは崩れ去った。それが怖いんだ。誰でもいいから、僕のことを愛してくれる人が現れてほしい。それだけあれば他の条件なんてない。

しゅっちゅう、夜空を見上げて思うんだ。今は空の汚れや街の明かりにかき消されて見えないけど、どこかで輝いている星が僕の前に現れて欲しいって。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9791v/>

誰かと

2011年10月5日19時39分発行